

## 金原ニュース

いつの日かマレーシアに行った時のことです。去年一人で韓国に行った際にゲストハウスで出会って友達になったマレーシア人の友人と1年ぶりの再会を果たしました。彼女は北京語・広東語・台湾語・英語・マレー語・韓国語・日本語と多様な言語を使えるハイスペック女子なのですが、なぜそんなにたくさんの言語を話せるのかと質問をしたところ、彼女はこう答えました。「自分の生まれた環境(彼女は中華系マレーシア人です)もあるし、マレーシアは多人種国家だからね」と。その時に改めて「人種のるつぼ」という言葉を実感したとともに、同じように人種のるつぼであるアメリカ合衆国とはちょっとわけが違うなと考えたわけです。アメリカの場合は確かにいろんな人種の人間が集まっていますが、あくまでも共通言語は英語。それに対してマレーシアはというと、各自が相手に合わせて言語を変えているような印象を受けました。なんだか「アジアの強さ」を垣間見たような気がしました。

それとマレーシアにて北朝鮮国家政府が運営する北朝鮮レストランに行ってみました。店の場所は賑やかな道から少し離れた路地に入ったようなところにあり、店の周りも本当に人っ子一人いないような、なんだか物騒な雰囲気。私たちが想像しているようなお店がなかなか見つからず誰もがあの時「これは生きて帰れるだろうか」と思ったはず…。いざ店内に入ってみると出迎えてくれたのは綺麗な色のチマチョゴリ(朝鮮の民族衣装)を身にまとった店員さん。店内に7人くらいウェイトレス(全員女性)がいて、そのうち2人がチマチョゴリを身につけており、他の方々はみんな同じようなワンピースを着ていて、どの人も容姿端麗で驚きました。店内にテレビモニターが数個あったのですが、そこでは北朝鮮の歌謡祭のようなものが永遠とリピートされていて、メディアによる思想弾圧ってこういうことかとしみじみと感じました。そしてお手洗いに行く際も後ろからウェイトレスがさりげなくついてきていて、私たちが出てくるまで外で待ちっているなどの対応に終始ビクビクしていました。こんな機会なかなかないだろうと思い、ウェイトレスに話しかけてみたのですが、「いつからマレーシアに住んでいるのですか?」と聞いたところなんとも言えない微笑みでごまかされ、「(こっちに)住み始めて長いのですか?」と聞くと、はい〜とだけ返されました(笑)。きっと自分の身の上の話とかもしてはいけないと言われているのでしょう。ここで働く女の子たちは一体どういう人生を送ってきたのか、そして今どういう状況に立たされているのか、いろいろな事を考えさせられる良い経験になりました。

## 安藤ニュース

スペインで学校が課す宿題が多過ぎるとして、児童・生徒の親でつくる保護者会連合が「スト入り」を宣言した。というニュースを見つけました。

宿題によってカリキュラム外の発達が阻害されるというのが理由で、週末の宿題を11月末まで拒否するよう呼び掛けているそうです。すごく思い切った行動に出ますね保護者連合会。子供達は両手を上げて大喜びしてそうですが。。

スペインで子供が宿題に費やす時間は週平均6.5時間。日本では週平均4.5時間程度。ざっと1.5倍といったところでしょうか。保護者連合会は、スペイン国内の公立校約1万2000校に通う子供らの保護者による組織です。同連合のパス会長は「スペインの教育が昔ながらの丸暗記に頼り過ぎている。現代社会では記憶力より情報をいかに活用するかが重要。社会が大きく変わっているのに、教室の中は昔のままだ。宿題が有害なのは、火を見るよりも明らかだ」と訴えています。

日本でも、近年の徐々に変わってきてはいるものの、いまだ暗記重視の教育は続いています。入試などにも関連して、最近よく耳にするこの手の教育問題。日本だけではなく、多くの国で様々な議論がされているようです。



## 伊川ニュース

任天堂の株よ上がれと願いを込めてハロウィンではピカチューのコスプレをしました。生徒達の反応も、株価も微妙な結果。家でコスプレをして、安藤先生に車で迎えに来てもらったのは良かったのですが、ズボン家を忘れてきて、帰りはレギンス姿で走って帰ったのは内緒です。体を張って仮装している先生もいます。無視はやめてあげて下さい。さて先月は社員研修旅行でマレーシアに行ってきました。個人的には4年連続で行って来ます。妻と一緒にいけない海外は、結婚後初めてで、いつも任せきりなので、不安もありましたが、最高に楽しかったです(´o`)／昨年まで10年連続で日本人が移住したい国No. 1に選ばれたマレーシア。食事に夜景に気候。トイレ以外は最高の国です！！

## ハロウィン仮装大賞 中2Oさん

今年も多くの生徒が仮装してくれた中、最もすごい仮装をしてくれた中2のOさんには商品として図書券1000円分が送られます。

